

テクトロニクス、全米放送機器展 NAB2015 で 4K 技術を展示

4K の QC/解析、新しいクローズド・キャプション/ファイルベース・モニタリング・ソリューションなど、豊富な製品ラインアップで放送局が直面する問題に対応

テクトロニクス(代表取締役、米山 不器)は、4月13~16日に米国ネバダ州ラスベガスで開催される「全米放送機器展 2015(National Association of Broadcasters、以下 NAB 2015)」に出展し(ブース番号:SU9121)、4K の解析/モニタリング用拡張オプションを含む、業界トップクラスの画像/音声品質のソリューション製品ラインアップを展示します。

4K/UHDTV1 コンテンツの要求から新しい方法によるコンテンツ視聴まで、放送業界はあらゆる方面からのニーズに直面しています。これに対し、放送局は番組制作からポストプロダクションまでのコンテンツ品質を保証するための総合的なツールを求めています。さらに、新しい技術、より厳しい規制にすばやく対応できる柔軟性も求めています。テクトロニクスは NAB にて、このような放送局の要求に応えるツールを展示します。

注目される製品/ソリューションとしては、WFM/WVR8000 シリーズ波形モニタ/ラスタライザによる 4K/UHDTV1 の統合モニタリング、[過日拡張された](#) 4K 対応ファイルベース解析ソリューション、4K 画像品質解析があります。また、最新の FCC クローズド・キャプション規制に対応した、Sentry ビデオ・ネットワーク・モニタリング・ソリューションの新しい 2 入力オプション([発表資料](#))、ポータブル波形モニタ WFM2300 型による拡張診断機能なども注目されます。

さらに、UHD/4K 信号をより効率的に、コスト効率よく配信するための SDI から IP ベースのインフラへの移行も展示します。[本日発表](#)したように、テクトロニクスはソニーの「IP ライブプロダクション」システムのサポートを含む、ソニーの Video over IP 戦略に関する協業の業界リーダーです。

4K モニタリング・ソリューション

4 つの 3G-SDI 入力を装備した [WFM/WVR8000 シリーズ](#) 波形モニタ/ラスタライザは、クワッドリンク 4K/UHDTV1 フォーマットのカメラ調整、カラー・グレーディング、カラー補正、QC、設備メンテナンスなどのアプリケーションのための総合的なモニタリング/測定ソリューションです。WFM/WVR8000 シリーズは、4K データレートに対応できるよう内部アーキテクチャが設計されているため、4K/UHDTV1 フォーマットに対してもアップグレ

ードで対応可能です。既に導入している製品をアップグレードできるため、4K 移行時に新しいモニタ機器を購入するなどの追加設備投資を防ぐことができます。

新しい機能としては、ITU-R BT.2020 カラー空間サポートを含めた、波形、ベクトル、ピクチャおよび当社特許のガマット表示モード対応、Square Division、2-Sample Interleave 4K フォーマットのサポート、4K ビデオのセッション表示、当社特許のタイミング表示と新しい 4K リンク・タイミング測定、さらにオーディオ・ラウドネス・モニタリング、4K コンテンツ用 ANC データ・サポートがあります。

拡張されたファイルベース・モニタリング・ソリューション

業界が 4K に移行するに従い、優れたビデオ品質で配信することが視聴者体験に応える上で重要になっています。この展示会では、テスト時間の短縮、統合されたビデオ・プレーヤ、総合的なコーデック・サポート、ワークフローへの簡単な統合といったお客様のニーズに対応する、業界トップクラスの[ファイルベース QC ソリューション](#)を展示します。

また、受賞実績のある Cerify、QCloud に加え、Digimetrics 社とのライセンス契約により追加された最新の QC 検証ソフトウェアがご覧いただけます。具体的には、次世代の自動ファイルベース QC 製品である Aurora、Aurora と連携してプレビュー可能なファイルベース・プレーヤである Hydra (4K コンテンツの再生で利用可能)、ファイルベース校正ツールである AutoFix があります。

新しい FCC のガイドラインに対応した Sentry の 2 入力オプション

2015 年 3 月に発行された新しい FCC ((米国連邦通信委員会)のガイドラインでは、放送局/ケーブル事業者は正確、同時性、完全性、位置などにおいて、テレビ・クローズド・キャプションに関する規格に適合しなければなりません。また、FCC は視聴者からの声の記録管理に対して新しい要件を課しています。

[Sentry ビデオ・ネットワーク・モニタリング・ソリューション](#)の 2 入力機能は、FCC 規制のモニタリング・コンプライアンスに対応した低価格、自己完結型のシングルユニット・ソリューションであり、警告システムと 60 日の履歴管理機能も統合しています。さらに、テクトロニクスの MTS4000 型 MPEG アナライザを使用することで、より深刻な問題を診断し、解決することができます。

WFM2300 型による迅速なトラブルシュート

テクトロニクスは、[WFM2300 型ポータブル波形モニタ](#)に、ASI サポート機能を追加しました。新しい機能としては、ASI 信号のアイ・パターン測定、豊富なテスト信号 (Dolby E テスト信号出力を含む)、A/V と伝搬遅延測定、SFP モジュールによる HDMI 接続などがあります。障害診断時に信号の種類を推測して選別する必要がないよ

うに、WFM2300 型はアクティブ入力 (ASI または SDI) に接続された信号のフォーマットを自動的に識別し、測定結果を適切に表示します。

テクトロニクスについて

テクトロニクスは、計測およびモニタリング機器メーカーとして、世界の通信、コンピュータ、半導体、デジタル家電、放送、自動車業界向けに計測ソリューションを提供しています。65年以上にわたる信頼と実績に基づき、お客様が、世界規模の次世代通信技術や先端技術の開発、設計、構築、ならびに管理をより良く行えるよう支援しています。米国オレゴン州ビーバートンに本社を置くテクトロニクスは、現在世界22カ国で事業を展開しています。詳しくはウェブ・サイト(jp.tektronix.com)をご覧ください。

テクトロニクスの最新情報はこちらから

Twitter ([@tektronix_jp](https://twitter.com/tektronix_jp))

Facebook (<http://www.facebook.com/tektronix.jp>)

YouTube (<http://www.youtube.com/user/TektronixJapan>)

お客さまからのお問合せ先

テクトロニクス お客様コールセンター

TEL 0120-441-046 FAX 0120-046-011

URL jp.tektronix.com

報道関係者からのお問い合わせ先
テクトロニクス 広報室 瀬戸
電話: 03(6714)3097 Fax: 03(6714)3667
Email: seto.atsuko@tektronix.com

Tektronix、テクトロニクス、Cerify は Tektronix, Inc. の登録商標です。本文に記載されているその他すべての商標名および製品名は、各社のサービスマーク、商標、登録商標です。